

東京剣連だより



第96号

Tokyo Kendo Federation News

居合道登録審査員ならびに指導者講習会



東京都剣道大会決勝戦



京都大会武徳殿にて杖道演武

女性への剣道の普及に向けて……………	吉岡成子	1
居合道部会新役員……………		2
令和5年度事業報告……………		3
令和5年度決算……………		4
令和6年度予算……………		5
加盟団体の段位別・登録者集計報告……………		6
東京都剣道段位別受審者(申込者)数の推移……………		7
大会記録・報告……………		8
審査会報告……………		14
剣道と第二道場……………	塚原清彰	18
居合道部会活動報告……………	伊藤繁男	21
杖道部会活動報告……………	高山一三	21
支部活動報告……………		22



女性への剣道の普及に向けて

— 女性委員会の活動状況 —

一般財団法人東京都剣道連盟
常任理事・女性委員会委員長

吉岡 成子

コロナ禍と少子化の進行に伴い、東京都における剣道人口が伸び悩んでいる中で、女性剣士の数は着実に増加しており、現在、東京都剣道連盟の会員の約2割、初段取得者の約3割を女性が占めるようになっていきます。また、近年の女性の高段者の増加には目を見張るものがあります。本連盟における剣道七段の女性は、令和3年に100名を突破して以降も順調に増え続け、令和5年には166名となりました。

このような中で、本連盟の所属団体においても、会長をはじめ副会長、常任理事など女性が役職に就くことが増え、女性を対象とした稽古会の実施などの取り組みも活発化しています。また、昨年には本連盟に女性の評議員が誕生いたしました。

一方、地域では幼少年の剣道指導の多くを女性剣士が担い、その丁寧な指導により未来を担う幼少年の剣道人口を支えています。本連盟の女性委員会は、女性への剣道普及、女性指導者の育成・活用等を図るとともに、地域で幼少年等の剣道指導に当たっている女性剣士を支援することを目指して、令和3年に発足いたしました。以来、女子剣道稽古会、女子剣道講習会等においてアンケートを実施し、女性剣士の皆さんのご意見を聴取したり、各所属団体を通して女性の活躍状況についての実態把握を行ったりしてまいりました。さらに昨年度からは、女性委員会主催の女子稽古会を開催しその充

実を図ってきています。

本年は、すでに2月、4月の2回、女性委員会主催と銘打つての女子剣道稽古会を開催いたしました。この7月6日(土)には、全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会及び国民スポーツ大会剣道競技の東京都代表の女性選手の壮行会を兼ねて、東京武道館大武道場において女子剣道稽古会を開催いたしました。また、9月21日(土)には、午前午後の2回に分け、日本剣道形を中心とした女子稽古会を実施する予定です。どうかふるってご参加ください。また、これまでの女性委員会主催の稽古会では、自分たちが中心となって担い、支えるとの暖かいお気持ちのもと、多くの高段者の女性にご参画いただき、より充実した稽古会となったと実感しております。深く感謝申し上げます。

東京都は女性剣士の層も厚く、恵まれた稽古環境のもとにあるといえますが、構造的な少子化の進行や育児と剣道の両立、長く剣道が続いていくための健康面での取り組み等、生涯剣道の実践にはまだまだ多くの課題があります。女性委員会としては、今後ともアンケートで寄せられたご意見、ご要望を踏まえ、女性に対する剣道普及とその充実に向け取り組んでまいりますので、引き続きのご支援、叱咤激励をお願いいたします。

一般財団法人東京都剣道連盟居合道部会
令和6・7年度新役員

(順不同・敬称略)

東京都剣道連盟居合道部会におきまして、令和6年度定時評議員会ならびに臨時理事会を開催し、次の通り、令和6年、7年度の役員および理事が選任されました。

会 長	伊藤 繁男	(令和5年改選)
副会長	畠 中篤美	
	市川 学	監 事
		吉澤 菊夫
専務理事	畠 中篤美	長澤 良治
常任理事	金 田和久	評議員
	桑 田孝博	吉田 真澄(中央)
	椿 二三夫(城西)	山口 敏(城東)
	平 舘勝紘(中央)	小野 桃子(城西)
	柳 徹(城北) ☆	丹羽 寛(城南)
理 事	島 博範(城東)	松 迫 拓朗(城北)
	沖野 規匡(城南)	池 田 敏 克(多摩東)
	塚 本 溢 巳(多摩西)	池 田 哲 郎(多摩西)
	古 川 茂 一(多摩中)	高 城 剛(多摩中)
	田 苗 俊 和(多摩東) ☆	今 西 辰 夫(団体)
	鬼久保 信夫(団体)	
	島 芳 廣(学識)	
	日 高 義 博(学識)	
相談役	柳 原 弘 文	

以上再任および新任(☆)



令和5年度事業報告

〔4月〕

1日 (土)	東京都居合道大会	571名参加
1日 (土)	女子剣道審判講習会	98名参加
1日 (土)	女子剣道稽古会	94名参加
2日 (日)	東京剣道祭	933名参加
15日 (土)	国体選手選考会	346名参加
15日 (土)	女子剣道稽古会	51名参加
23日 (日)	剣道四・五段審査会	524名参加
23日 (日)	剣道合同稽古会	109名参加
〔5月〕		
14日 (日)	都民体育大会	43区市参加
14日 (日)	全日本都道府県対抗女子 剣道優勝大会予選会	93名参加
21日 (日)	剣道高段者稽古会	30名参加
21日 (日)	剣道合同稽古会	65名参加
23日 (火)	国体二次選考会	32名参加
27日 (土)	東京都女子年齢別剣道大会	294名参加
〔6月〕		
5日 (月)	剣道合同稽古会	51名参加
11日 (日)	剣道講師要員研究会	45名参加
17日 (土)	居合道審判実技講習会	203名参加
〔7月〕		
1日 (土)	剣道六・七段受審者講習会	92名参加
1日 (土)	剣道登録審査要員等研修会	276名参加
8日 (土)	東京都女子剣道選手権大会	99名参加
8日 (土)	全日本都道府県対抗少年 剣道優勝大会選手選考会	89名参加
10日 (月)	剣道合同稽古会	53名参加
15日 (土)	全日本居合道大会予選会	45名参加
16日 (日)	杖道指導者審判講習会	105名参加
22日 (土)	東京都杖道大会 東京杖道祭	256名参加
22日 (土)	女子剣道講習会	54名参加

〔8月〕

12日 (土)	剣道四・五段受審者講習会	87名参加
12日 (土)	剣道登録審査要員等研修会	91名参加
20日 (日)	国体関東ブロック大会	24チーム参加
〔9月〕		
2日 (土)	東京都剣道選手権大会	218名参加
2日 (土)	寛仁親王杯剣道 八段選抜大会	32名参加
3日 (日)	東京都青年剣道大会男子 女子	36区市参加 22区市参加
3日 (日)	都民生涯スポーツ大会	34区市参加
16日 (土)	居合道伝達講習会	249名参加
18日 (祝)	居合道四・五段審査会	87名参加
24日 (日)	剣道八段受審者講習会	42名参加
〔10月〕		
1日 (日)	杖道四・五段審査会	44名参加
1日 (日)	剣道合同稽古会	76名参加
19日 (木)	シニア健康スポーツ フェスティバル TOKYO	225名参加
〔11月〕		
25日 (土)	剣道四・五段審査会	843名参加
27日 (月)	剣道合同稽古会	60名参加
〔12月〕		
3日 (日)	東京都形剣道大会	76チーム参加
4日 (月)	剣道合同稽古会	53名参加
13日 (水)	授業協力者養成講習会	19名参加
令和6年		
〔1月〕		
22日 (月)	剣道合同稽古会	79名参加
〔2月〕		
3日 (土)	全日本都道府県対抗 剣道優勝大会予選会	211名参加
3日 (土)	女子剣道稽古会	67名参加
12日 (休)	東京都少年剣道大会	38チーム参加
12日 (休)	剣道合同稽古会	101名参加
17日 (土)	剣道四・五段審査会	564名参加

令和5年度剣道・居合道・杖道四・五段審査会の結果

	年月日	段位	受審者	実技合格者	形・学科不合格者	合格者	合格率	再受審者	再受審合格者
剣道	R5.4.23	四	224人	80人	10人	70人	31.3%	19人	17人
		五	300	68	0	68	22.7	5	5
	R5.11.25	四	445	153	9	144	32.4	10	10
		五	398	151	1	150	37.7	0	0
	R6.2.17	四	271	106	4	102	37.6	7	7
		五	293	90	3	87	29.7	1	1
居合道	R5.9.18	四	54	22	0	22	40.7	0	0
		五	33	12	0	12	36.4	0	0
	R6.3.16	四	49	22	1	21	42.9	0	0
		五	41	10	0	10	24.4	0	0
杖道	R5.10.1	四	13	5	0	5	38.5	0	0
		五	13	8	0	8	61.5	0	0
	R6.3.20	四	18	8	0	8	44.4	0	0
		五	20	2	0	2	10.0	0	0

23日 (祝)	剣道八段受審者講習会	101名参加
25日 (日)	東京都剣道大会	46加盟団体参加
〔3月〕		
4日 (月)	剣道合同稽古会	57名参加
16日 (土)	居合道四・五段審査会	90名参加
20日 (祝)	杖道四・五段審査会	38名参加
24日 (日)	杖道指導者審判講習会	82名参加
24日 (日)	剣道高段者稽古会	27名参加
24日 (日)	剣道合同稽古会	87名参加

令和5年度収支計算書内訳表

(単位：円)

科 目	一般会計
I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
基本財産運用収入	1,694
特定資産運用収入	7,026
会費収入	13,594,500
事業収入	112,976,977
普及費収入	2,400,200
講習会事業収入	2,650,080
大会費収入	5,997,700
審査等参加料収入	51,062,777
登録料収入	50,866,220
補助金等収入	7,846,787
雑収入	290,356
事業活動収入計	134,717,340
2. 事業活動支出	
事業費支出	58,689,026
指導普及事業支出	4,619,888
講習会事業支出	3,837,427
育成強化事業支出	8,838,836
大会事業支出	27,012,715
大会派遣事業支出	3,395,863
審査会事業支出	10,048,786
功労者表彰事業支出	935,511
管理費支出	54,254,156
人件費支出	26,357,770
会議費支出	6,931,981
物件費支出	6,415,600
租税公課支出	9,515,400
支払保険料支出	23,900
分担金支出	3,140,000
雑費支出	1,869,505
事業活動支出計	112,943,182
事業活動収支差額	21,774,158
II 投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	
特定資産取崩収入	10,000,000
投資活動収入計	10,000,000
2. 投資活動支出	
特定資産	11,900,950
投資活動支出計	11,900,950
投資活動収支差額	△ 1,900,950
III 財務活動収支の部	
1. 財務活動収入	
財務活動収入計	0
2. 財務活動支出	
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
当期収支差額	19,873,208
前期繰越収支差額	242,794,703
次期繰越収支差額	262,667,911

令和6年度収支予算書内訳表

(単位：円)

科目	一般会計
I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
基本財産運用収入	1,500
特定資産運用収入	4,500
会費収入	13,520,000
事業収入	105,132,922
普及費収入	3,188,000
講習会事業収入	2,710,000
大会費収入	6,461,400
審査等参加料収入	49,489,995
登録料収入	43,283,527
補助金等収入	8,425,000
雑収入	203,300
事業活動収入計	127,287,222
2. 事業活動支出	
事業費支出	70,289,000
指導普及事業支出	4,730,000
講習会事業支出	5,260,000
育成強化事業支出	8,193,000
大会事業支出	34,560,000
大会派遣事業支出	4,811,000
審査会事業支出	12,235,000
功労者表彰事業支出	500,000
管理費支出	60,107,000
人件費支出	29,702,000
会議費支出	6,725,000
物件費支出	8,440,000
租税公課支出	9,850,000
支払保険料支出	50,000
分担金支出	3,140,000
雑費支出	2,200,000
事業活動支出計	130,396,000
事業活動収支差額	△ 3,108,778
II 投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	
投資活動収入計	0
2. 投資活動支出	
特定資産	2,333,150
投資活動支出計	2,333,150
投資活動収支差額	△ 2,333,150
III 財務活動収支の部	
1. 財務活動収入	
財務活動収入計	0
2. 財務活動支出	
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
IV 予備費支出	
当期収支差額	△ 5,441,928

令和5年度加盟団体の段位別・登録者集計報告

昨年度は各団体皆様のご理解とご協力により、団体別・段位別登録者数が明確になりました。感謝申し上げます。

この表を基に更に剣道人口の増加を目指し、一層の普及振興にご尽力いただきたいと思います。

令和6年3月31日現在(単位:人)

	初段	(前年比)	二段	(前年比)	三段	(前年比)	四段	(前年比)	五段	(前年比)	六段	(前年比)	七段	(前年比)	八段	(前年比)	5年度	(前年比)
千代田	46	▲14	46	9	86	▲2	116	2	97	8	103	12	125	3	5	0	624	18
中央	40	3	36	8	109	22	107	▲10	79	5	47	▲6	74	3	3	0	495	25
台東	41	18	48	▲15	61	4	28	▲6	40	6	40	3	36	3	3	0	297	13
文京	65	▲16	49	6	33	▲5	27	▲1	36	2	22	▲4	34	3		0	266	▲15
墨田	37	7	26	▲6	44	▲2	41	0	35	▲2	26	1	29	▲1		0	238	▲3
江東	37	▲14	50	9	30	▲7	38	▲8	44	8	34	0	38	0	2	0	273	▲12
葛飾	38	▲7	43	1	56	▲6	60	5	70	0	56	▲1	66	▲1		0	389	▲9
江戸川	89	▲11	65	3	67	2	65	▲11	63	▲5	58	6	52	2	4	0	463	▲14
足立	73	▲9	67	▲7	89	▲20	73	5	60	▲8	73	▲3	86	4	4	0	525	▲38
新宿	54	▲3	52	▲3	72	▲10	30	3	32	▲1	40	▲1	61	6	5	0	346	▲9
中野	79	▲4	70	14	54	9	43	▲3	82	11	65	8	78	5	6	0	477	40
杉並	103	▲10	112	24	69	▲1	52	▲4	53	▲1	53	▲5	80	2	2	0	524	5
渋谷	38	▲18	44	15	25	▲7	32	▲11	47	2	40	0	55	4	1	0	282	▲15
世田谷	126	▲51	128	28	109	12	85	▲6	83	4	56	▲1	85	0	8	0	680	▲14
港	89	▲22	74	15	46	24	54	8	42	9	35	▲3	49	1	3	1	392	33
品川	46	▲8	33	▲3	27	▲6	35	▲2	45	3	47	▲6	53	5	3	0	289	▲17
目黒	44	▲11	37	6	38	16	35	▲11	47	2	26	2	43	2	1	0	271	6
大田	71	▲19	70	8	85	9	93	10	99	4	68	▲9	109	11	2	0	597	14
豊島	201	43	111	42	70	8	47	6	20	2	36	▲2	47	5	1	0	533	104
北	95	24	62	7	55	▲6	51	5	48	2	47	▲4	69	2		0	427	30
荒川	27	4	20	3	23	3	31	1	37	▲1	20	0	40	3		▲2	198	11
板橋	76	5	60	▲2	89	9	93	▲3	69	▲5	79	3	105	▲2	6	1	577	6
練馬	119	▲40	144	14	123	2	90	6	83	8	75	▲5	94	9	1	▲1	729	▲7
西東京	807	▲24	760	8	566	▲4	519	▲16	539	15	477	0	681	37	16	0	4,365	16
警視庁	1,107	80	985	33	658	50	676	44	823	83	326	26	338	35	38	▲2	4,951	349
皇宮	89	▲29	110	6	152	▲4	34	▲2	20	▲1	17	3	13	0	5	0	440	▲27
法務	13	▲1	17	0	26	▲9	79	10	75	▲2	47	4	50	3		0	307	5
自衛隊	13	7	12	2	30	2	30	14	26	1	36	6	51	10	2	0	200	42
消防庁	8	▲7	22	1	82	▲3	59	3	40	▲3	34	▲1	47	2		0	292	▲8
交通局	17	0	29	0	54	▲1	32	▲2	25	▲1	22	▲4	38	4		0	217	▲4
学連剣	0	▲1	1	▲2	12	▲7	22	▲2	37	▲6	46	0	94	5	16	2	228	▲11
学生ク	84	▲8	165	8	692	▲174	264	▲3		0		0		0		0	1,205	▲177
高体連	505	▲119	1,359	240	1,005	▲129	13	▲3	16	4	31	2	36	4	4	0	2,969	▲1
居合道	196	▲36	220	12	292	▲24	234	▲6	218	▲26	146	6	149	7	10	▲2	1,465	▲69
杖道	74	▲11	94	8	141	▲4	79	▲7	101	0	61	▲7	43	5	13	0	606	▲16
計	4,547	▲302	5,221	492	5,170	▲259	3,367	5	3,231	117	2,389	20	3,048	181	164	▲3	27,137	251

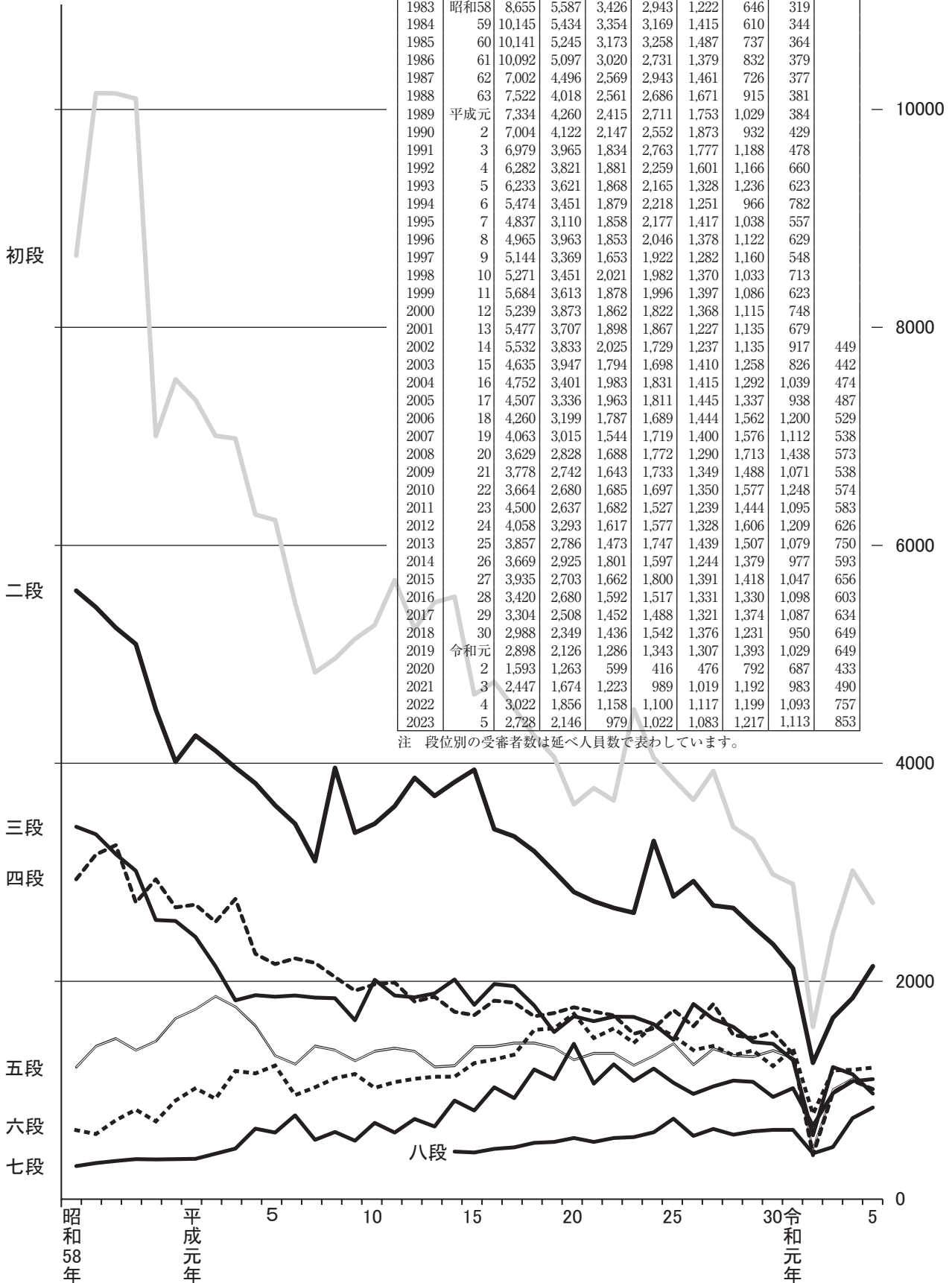
※各段位の右側の数字は前年度との会員数増減を記載しており▲は減を表わしています。

東京都における剣道段位別受審者(申込者)数の推移

剣道段位別受審者数の推移 (単位:人)

西暦	元号	初段	二段	三段	四段	五段	六段	七段	八段
1983	昭和58	8,655	5,587	3,426	2,943	1,222	646	319	
1984	59	10,145	5,434	3,354	3,169	1,415	610	344	
1985	60	10,141	5,245	3,173	3,258	1,487	737	364	
1986	61	10,092	5,097	3,020	2,731	1,379	832	379	
1987	62	7,002	4,496	2,569	2,943	1,461	726	377	
1988	63	7,522	4,018	2,561	2,686	1,671	915	381	
1989	平成元	7,334	4,260	2,415	2,711	1,753	1,029	384	
1990	2	7,004	4,122	2,147	2,552	1,873	932	429	
1991	3	6,979	3,965	1,834	2,763	1,777	1,188	478	
1992	4	6,282	3,821	1,881	2,259	1,601	1,166	660	
1993	5	6,233	3,621	1,868	2,165	1,328	1,236	623	
1994	6	5,474	3,451	1,879	2,218	1,251	966	782	
1995	7	4,837	3,110	1,858	2,177	1,417	1,038	557	
1996	8	4,965	3,963	1,853	2,046	1,378	1,122	629	
1997	9	5,144	3,369	1,653	1,922	1,282	1,160	548	
1998	10	5,271	3,451	2,021	1,982	1,370	1,033	713	
1999	11	5,684	3,613	1,878	1,996	1,397	1,086	623	
2000	12	5,239	3,873	1,862	1,822	1,368	1,115	748	
2001	13	5,477	3,707	1,898	1,867	1,227	1,135	679	
2002	14	5,532	3,833	2,025	1,729	1,237	1,135	917	449
2003	15	4,635	3,947	1,794	1,698	1,410	1,258	826	442
2004	16	4,752	3,401	1,983	1,831	1,415	1,292	1,039	474
2005	17	4,507	3,336	1,963	1,811	1,445	1,337	938	487
2006	18	4,260	3,199	1,787	1,689	1,444	1,562	1,200	529
2007	19	4,063	3,015	1,544	1,719	1,400	1,576	1,112	538
2008	20	3,629	2,828	1,688	1,772	1,290	1,713	1,438	573
2009	21	3,778	2,742	1,643	1,733	1,349	1,488	1,071	538
2010	22	3,664	2,680	1,685	1,697	1,350	1,577	1,248	574
2011	23	4,500	2,637	1,682	1,527	1,239	1,444	1,095	583
2012	24	4,058	3,293	1,617	1,577	1,328	1,606	1,209	626
2013	25	3,857	2,786	1,473	1,747	1,439	1,507	1,079	750
2014	26	3,669	2,925	1,801	1,597	1,244	1,379	977	593
2015	27	3,935	2,703	1,662	1,800	1,391	1,418	1,047	656
2016	28	3,420	2,680	1,592	1,517	1,331	1,330	1,098	603
2017	29	3,304	2,508	1,452	1,488	1,321	1,374	1,087	634
2018	30	2,988	2,349	1,436	1,542	1,376	1,231	950	649
2019	令和元	2,898	2,126	1,286	1,343	1,307	1,393	1,029	649
2020	2	1,593	1,263	599	416	476	792	687	433
2021	3	2,447	1,674	1,223	989	1,019	1,192	983	490
2022	4	3,022	1,856	1,158	1,100	1,117	1,199	1,093	757
2023	5	2,728	2,146	979	1,022	1,083	1,217	1,113	853

注 段位別の受審者数は延べ人員数で表わしています。



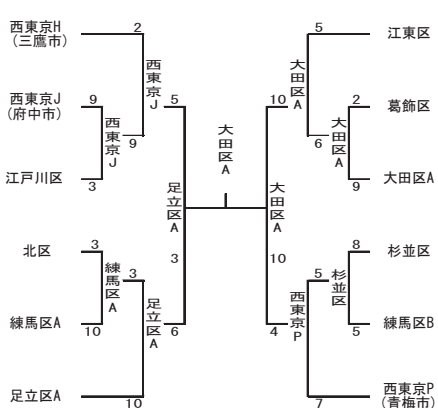
大会記録

第七十二回全日本都道府県対抗剣道
優勝大会東京都予選会
令和6年2月3日
於 東京武道館



都道府県予選会各部門優勝者

- 大将の部**
優勝 島村 剛史 (警視庁)
第二位 和田 満芳 (西東京)
- 副将の部**
優勝 本川 耕平 (港)
第二位 鈴木純之介 (西東京)



優秀選手
中学生
砂廣 賢佑 (府中市)

第十九回東京都少年剣道大会
令和6年2月12日
於 東京武道館

- 三将の部**
優勝 宮本 敬太 (警視庁)
第二位 大平 翔士 (警視庁)
- 中堅の部**
優勝 安藤 翔 (学剣連)
第二位 貝塚 泰紀 (学剣連)
- 五将の部**
優勝 岩川 力 (港)
第二位 丸井 謙志 (港)
- 次鋒の部**
優勝 池田 千浩 (国士館)
第二位 野本 馨 (日本文化)
- 先鋒の部**
久保木 瞭 (高体連推薦)



少年大会木刀による剣道基本技稽古法試合

- 遠藤 愛美 (練馬区)
堀内 壮真 (大田区)
島山 玄 (杉並区)
- 五・六年生
杉本 昇也 (府中市)
才津 郁翔 (府中市)
星野 昂 (足立区)
濱田 響 (練馬区)
東海林 牙子 (江東区)
奥野 美都 (大田区)
千葉 陽 (杉並区)
福島龍太郎 (青梅市)
- 四年生以下
才津 真麻 (府中市)
早苗寿々夏 (足立区)
内山 珠乃 (江東区)
加藤 美織 (杉並区)

第七十二回東京都剣道大会
令和6年2月25日
於 東京武道館

準々決勝	準々決勝
警視庁A	警視庁A
5-1	5-0
2-2 (不)	2-5
皇宮	警視庁B
	2-1
	0-5
	西東京C
	皇宮
	西東京A
	警視庁B
	西東京C
	皇宮
	警視庁B
	皇宮



少年大会優勝チーム大田区

決勝
警視庁A 5-1 皇宮



東京都大会選手宣誓

第六十四回東京剣道祭

令和6年4月7日

於 東京武道館

優秀試合者

第一試合場

梅澤 雅史(葛飾)

小林 宏美(北)

古澤 伸晃(学連剣)

花岡 邦郎(練馬)

第二試合場

野田 知宏(学連剣)

飯蓋 深水(警視庁)

城 祐司(警視庁)

鹿間泰二郎(新宿)

第三試合場

吉澤 翔(西東京)

遅野井直樹(警視庁)

稲田 和幸(墨田)
佐藤 範和(警視庁)

第四試合場

西野 友揮(警視庁)

野村 希(西東京)

谷口 洋(渋谷)

古谷 芳和(茨城)

第五試合場

福島 拓利(西東京)

西山 晶造(港)

中村 正人(警視庁)

村石 浩行(学連剣)

第六試合場

緑川 博之(警視庁)

海老原 将(警視庁)



剣道祭日本剣道形公開演武

興杣 精孝(葛飾)
飯屋 道浩(江戸川)

第七試合場

山口 香里(文京)

坂本 貴友(警視庁)

内村 良一(警視庁)

天野 聡(神奈川)

第八試合場

松尾 方洋(新宿)

青木 英治(警視庁)

吉田 健児(法務)

伊垣 誠(葛飾)

第七十七回都民体育大会

令和6年5月12日

於 東京武道館

準決勝

千代田区 1-1(至多摩市)

大田区代 2-2 品川区



都民大会試合

決勝

多摩市 3-0 大田区

第十六回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会予選会

令和6年5月12日

於 東京武道館

大将の部

優勝 矢野比路代(杉並)

第二位 橋本 裕子(葛飾)



都道府県女子予選会各部門優勝者



国スポ予選会試合

副将の部

- 優勝 杉本久美子 (警視庁)
- 第二位 鎌田由美子 (西東京)

中堅・三将の部

- 優勝 近藤 美洸 (警視庁)
- 第二位 和栗 宏恵 (警視庁)

五将の部

- 優勝 内田 涼子 (警視庁)
- 第二位 村井 滉菜 (警視庁)

次鋒の部

- 優勝 中原 菜月 (学生クラブ)
- 第二位 北井 沙樹 (学生クラブ)

先鋒の部

- 伊東 堇 (高体連推薦)

第78回国民スポーツ大会剣道競技

選手選考会

令和6年5月21日

於 東京武道館

成年男子の部

- 大将 新名 修一 (西東京)
- 副将 神崎 力 (西東京)

- 中堅 畠中 宏輔 (警視庁)

- 次鋒 星子 啓太 (警視庁)

- 先鋒 阿部 壮己 (警視庁)

成年女子の部

- 大将 大串真裕美 (台東)

- 中堅 近藤 美洸 (警視庁)

- 先鋒 佐藤みのり (警視庁)

第十六回東京都女子年齢別剣道大会

令和6年5月25日

於 東京武道館

ばらの部

- 優勝 小川 渚 (江戸川)

- 第二位 山口菜々実 (江戸川)

- 第三位 鳴戸 彩七 (江戸川)

- 第三位 白石 薫子 (豊島)

- 敢闘賞 松尾 光敏 (法務)

- 敢闘賞 河崎 弘美 (江戸川)

- 敢闘賞 小林 彩乃 (足立)

- 敢闘賞 内田 望美 (西東京)

ひまわりの部

- 優勝 瀧原 英恵 (消防庁)

- 第二位 奥田りいな (西東京)

- 第三位 内田 美里 (西東京)

- 第三位 大崎 美沙 (板橋)

- 敢闘賞 渡邊 彩 (大田)

- 敢闘賞 平田 舞美 (千代田)

- 敢闘賞 金 希妍 (世田谷)

- 敢闘賞 日野 光恵 (消防庁)

はなみずきの部

- 優勝 星 睦 (西東京)

- 第二位 出原 郁枝 (西東京)

- 第三位 高岡 翼 (大田)



女子年齢別大会来賓小林先生藤野先生



女子年齢別大会試合

- 第三位 小林 宏美 (北)

- 敢闘賞 田村美和子 (西東京)

- 敢闘賞 大串真裕美 (台東)

- 敢闘賞 森本奈緒子 (世田谷)

- 敢闘賞 小島 祐子 (西東京)

ぼたんの部

- 優勝 松尾 純子 (自衛隊)

- 第二位 柿添さゆり (渋谷)

- 第三位 佐藤 深雪 (港)

- 第三位 北原絵里子 (西東京)

- 敢闘賞 加藤 初美 (西東京)

- 敢闘賞 鷺見 容子 (北)

- 敢闘賞 川上由紀子 (大田)

- 敢闘賞 吉寄 裕子 (江戸川)

かきつばたの部

- 優勝 吉岡 成子 (渋谷)

- 第二位 別府さつき (板橋)

- 第三位 新井 規子 (中野)

- 第三位 窪寺 真理 (中野)

- 敢闘賞 上原富佐江 (世田谷)

- 敢闘賞 牧 美穂 (江戸川)

- 敢闘賞 桑原千佳子 (中野)

- 敢闘賞 中井 尚子 (西東京)

ゆりの部

- 優勝 林 洋子 (西東京)

- 第二位 大矢根怜子 (西東京)

- 第三位 種田 恵子 (文京)

- 第三位 吉野チエ子 (西東京)

- 敢闘賞 木村恵美子 (中野)

- 敢闘賞 高橋 清子 (西東京)

- 敢闘賞 駒野とし子 (港)

- 敢闘賞 山口 民子 (新宿)

大会報告

第七十二回全日本都道府県対抗剣道優勝大会

令和6年4月29日

於 大阪府

- 先鋒 久保木 瞭 (郁文館)
- 次鋒 池田 千浩 (国士館)
- 五将 岩川 力 (港)
- 中堅 安藤 翔 (学剣連)
- 三将 宮本 敬太 (警視庁)
- 副将 本川 耕平 (港)
- 大将 島村 剛史 (警視庁)

二回戦 京都府 0-4 東京都



都道府県大会優勝

三回戦	福島県	0-5	東京都
四回戦	佐賀県	2-2	東京都
準決勝	大阪府	1-4	東京都
決勝戦	東京都	4-2	埼玉県

優秀選手

- 安藤 翔 (学剣連)
- 島村 剛史 (警視庁)

中島監督談話

代表選手が決定した後、結団式・3回の出稽古を行っていく中で選手どうしが打ち解けあい、よい雰囲気ของทีมが出来上がりました。剣窓の予想にも東京都の名前が上がり、個別の選手名も載っていました。大会では一戦ごとに調子を上げていき、選手間の信頼感も強く、接戦になっても次に繋げていき、まさに全員で勝ち取った優勝でした。

体育連大会

令和5年度東京都高等学校

新人剣道大会

令和6年1月14日

於 東京武道館

男子の部

ベスト16

郁文館 4-1 京華

國學院久我山	0-4	明大中野
東海大菅生	3-1	八王子東
明大明治	1-3	杉並学院
東海大高輪台	5-0	青梅総合
上水	1-3	正則学園
駒澤	2-2	学習院
城西大城西	0-3	国士館

準々決勝

郁文館 1-0 明大中野

東海大菅生 2-0 杉並学院

東海大高輪台 1-0 正則学園

駒澤 0-4 国士館

準決勝

郁文館 2-0 東海大菅生

東海大高輪台 0-0 国士館

決勝

郁文館 2-1 東海大高輪台

女子の部

ベスト16

淑徳巣鴨 3-1 新渡戸文化

晴海総合 1-3 東海大高輪台

駒澤 4-0 日大第一

城西大城西 0-5 東海大菅生

深川 5-0 小松川

青梅総合 0-4 修徳

向丘 1-4 桜美林

鷲宮 0-5 日体大桜華

準々決勝

淑徳巣鴨 3-0 東海大高輪台

駒澤 2-2 東海大菅生

深川 1-2 修徳

桜美林 1-2 日体大桜華

準決勝	淑徳巣鴨	2-0	東海大菅生
決勝	修徳	0-2	日体大桜華
準決勝	淑徳巣鴨	2-2	日体大桜華

令和6年度東京都高等学校春季

剣道大会兼関東大会団体東京都予選

令和6年4月20日

於 東京武道館

男子の部

ベスト16

郁文館 2-1 学習院

京華 1-2 駒澤

明大中野 5-0 立正大立正

攻玉社 0-3 国士館

東海大菅生 1-0 上水

八王子東 2-3 正則学園

杉並学院 1-3 足立学園

日大第三 0-1 東海大高輪台

準々決勝

郁文館 2-0 駒澤

明大中野 0-0 国士館

東海大菅生 1-2 正則学園

足立学園 1-1 東海大高輪台

準決勝

郁文館 3-0 国士館

正則学園 1-4 足立学園

決勝

郁文館 2-2 足立学園

11

令和6年度東京都高等学校春季
剣道大会兼関東大会団体東京都予選
令和6年4月29日

女子の部

ベスト16

淑徳巣鴨	5-0	八王子東
新渡戸文化	1-1(代)	深川
東海大高輪台	1-0	青梅総合
晴海総合	1-2	修徳
東海大菅生	4-0	上水
城西大城西	2-3	桜美林
駒澤	2-1	文大杉並
松が谷	0-5	日体大桜華

準々決勝

淑徳巣鴨	3-0	深川
東海大高輪台	1-3	修徳
東海大菅生	3-0	桜美林
駒澤	0-2	日体大桜華

準決勝

淑徳巣鴨	4-0	修徳
東海大菅生	0-3	日体大桜華

決勝

淑徳巣鴨	2-0	日体大桜華
------	-----	-------

令和6年度東京都高等学校春季
剣道大会兼関東大会個人東京都予選

令和6年5月11日

於 東京武道館

男子の部

準々決勝

相楽(光丘) 1-メ 小池(攻玉社)

築場(足立学園) 1-メ 吉田(東海大菅生)
城ヶ崎(正則学園) 1-コ 深津(攻玉社)
久保木(郁文館) 1-メ 吉田(明大中野)

準決勝

小池(攻玉社) 1-コ 吉田(東海大菅生)
深津(攻玉社) 1-メ 吉田(明大中野)

決勝

小池(攻玉社) 1-メ 吉田(明大中野)

女子の部

準々決勝

大越(日体大桜華) 1-コ 中嶋(淑徳巣鴨)
伊東(淑徳巣鴨) 1-メ 高橋(新渡戸文化)
奥田(東海大菅生) 1-メ 下川(日体大桜華)
柳川(日体大桜華) 1-メ 伊東(淑徳巣鴨)

準決勝

大越(日体大桜華) 1-コ 伊東(淑徳巣鴨)
下川(日体大桜華) 1-メ 伊東(淑徳巣鴨)

決勝

伊東(淑徳巣鴨) 1-メ 下川(日体大桜華)

第71回関東高等学校剣道大会

令和6年6月8・9日

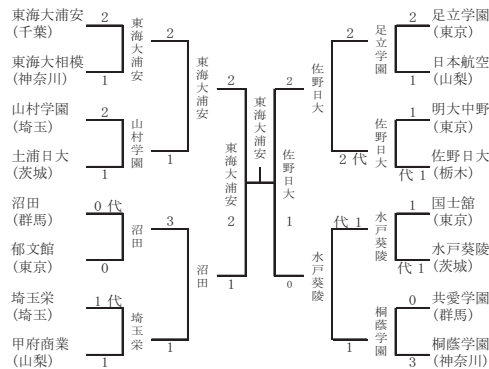
於 神奈川県

個人の部

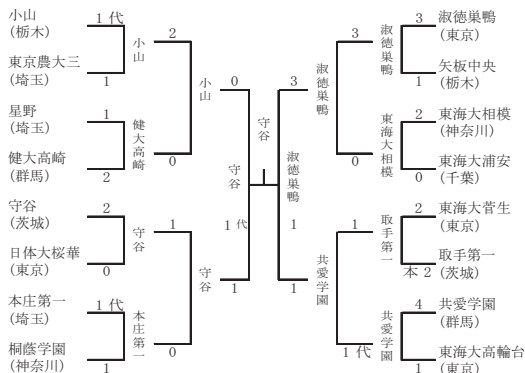
女子の部

第二位 伊東 葵(淑徳巣鴨)

団体の部
男子の部



女子の部
第二位 淑徳巣鴨高等学校



中体連大会

令和6年度東京都剣道連盟会長杯
争奪中学校剣道大会
令和6年6月15日

於 エスフォルタアリーナ八王子サブアリーナ

男子の部

ベスト16

調布	4-0	富士
目黒中央(代)	1-4	立石
荒川第五	0-5	拜島
郁文館	5-0	関
多摩永山	1-3	三原台
青梅第一	0-2	中野東
足立学園	0-3	国士館

準々決勝

秋多	2-0	立石
目黒中央	0-5	関
郁文館	4-0	三原台
中野東	0-4	国士館

準決勝

秋多	1-3	関
郁文館	1-0	国士館

決勝

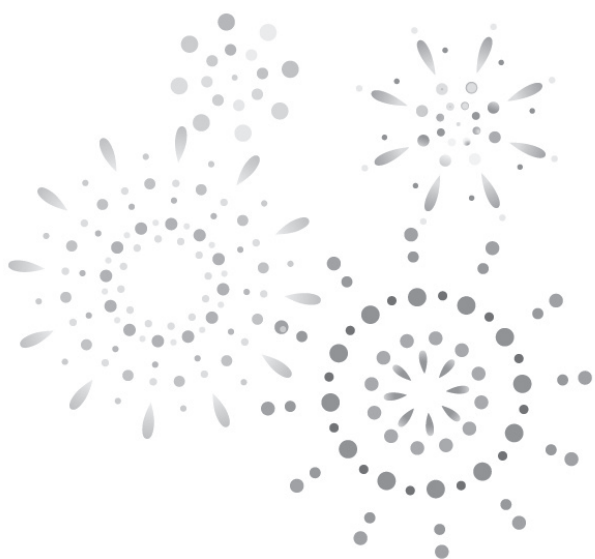
関	0-0	郁文館
---	-----	-----

女子の部

ベスト16

淑徳巣鴨	4-0	府中第六
花小金井南	0-3	深川第二
小平第一	3-2	文杉・高天彦
東葛西	0-5	日体大桜華

	立	石	5	0	千	川
	共立女子	1	2	秋	多	
	府中第一	4	1			
		田無第一・武蔵野大学				
	東海大菅生	2	1	新渡戸文化		
準	決勝					
	淑徳巣鴨	3	0	深川第二		
	小平第一	0	4	日体大桜華		
	立	石	2	2	秋	多
	府中第一	2	1	東海大菅生		
準	決勝					
	淑徳巣鴨	1	2	日体大桜華		
秋	多	2	0	府中第一		
決	勝					
	日体大桜華	2	1	秋	多	



称号・六段以上合格者

【剣道範士 (5月6日於京都府)】



千葉胤道 78歳
職業 会社顧問
出身地 東京都
座右の銘「初心、忘るべからず」

【剣道範士 (5月6日於京都府)】



石井 猛 66歳
職業 東京武道館 剣道師範
出身地 茨城県
座右の銘「我以外皆我師也」

【剣道範士 (5月6日於京都府)】



恩田浩司 63歳
職業 会社員
出身地 東京都
座右の銘「日々新」

【居合道範士 (5月3日於京都府)】



伊藤繁男 69歳
職業 自営業
出身地 東京都
座右の銘「五省」
至誠に慄る勿かりしか、言行に恥じる勿かりしか、
氣力に缺くる勿かりしか、努力に憊み勿かりしか、
不精に怠る勿かりしか

【剣道八段 (5月2日於京都府)】



原田 悟 50歳
職業 警察官
出身地 福島県
座右の銘「不退転」

【剣道八段 (5月2日於京都府)】



小関太郎 48歳
職業 警察官
出身地 千葉県
座右の銘「末在」

【剣道八段 (5月2日於京都府)】



権瓶功泰 46歳
職業 警察官
出身地 新潟県
座右の銘「運鈍根」

【居合道七段 (12月10日於東京都)】

安藤晃子・佐藤祥一

【居合道六段 (12月10日於東京都)】

宮原康代・姫野優子・小林美雄・
信太信隆・門間英文

【剣道七段 (2月3日於福岡県)】

【中央】 光田岳史

【剣道六段 (2月4日於福岡県)】

【中野】 丸茂 研【渋谷】 今川和
成【板橋】 關 錦超【西東京】 村
富聖気

【剣道七段 (2月17日於長野県)】

【中央】 久保田剛【葛飾】 渋谷英
一【江戸川】 平川和博【新宿】 稲
川貴久・松田 務【杉並】 横田良
平・萩原 一【渋谷】 柳 千江
【豊島】 高橋裕司【北】 川下 毅・
落合俊二【荒川】 渡辺敏夫【板橋】

坂本睦夫【練馬】 谷治弘康【西東
京】 小林勝彦・本多雅文【警視庁】

飯塚正憲・梅尾周平・西島隆治・
鈴木耕一【法務】 小泉直人・伊藤
啓太【高体連】 森下将臣

【剣道六段 (2月18日於長野県)】

【千代田】 寺地はるか・藤原郁大・
堀越竜矢・酒井雅之【中央】 藤田
雄久【台東】 鈴木隆徳・平田隆幸・
赤堀則行【墨田】 平崎麻琴【葛飾】
梅澤めぐみ・田代幸長・平澤賢司・
畑尾隆廣【足立】 石塚 敦【杉
並】 小坂敏幸【渋谷】 河野達樹・
篠崎隆宏・柿崎 理【品川】 太田
尚規【大田】 小室好民【北】 川上
裕樹【荒川】 丸田 恵【板橋】 辻
元和紀【練馬】 服部良彦・柴田哲
也【西東京】 葛本 葵・福森将人・
笠貫恵美・小笠原哲史・黄木敏雄・
淡路眞吾・眞島和巳・辻井清三
【警視庁】 高梨浩樹・志賀桃史郎・
梶原浩樹・岡元健太・川本 静・
真崎広之・縄田 博・山下大介・
渡邊大隆・佐藤輝之・守重正俊・
大村和夫【法務】 保澤厚仁【自衛
隊】 高田耕平・下斗米春菜【消防
庁】 石井邦明・杉田 匡【学連剣】
佐藤洋祐

【居合道七段 (3月3日於京都府)】

村井重之

【居合道六段 (3月3日於京都府)】

佐藤利子

【杖道七段 (3月8日於東京都)】

宇佐美紘子・河上珠枝・大槻 潮・
John Webb・小林正明

【杖道六段 (3月8日於東京都)】

末松 宏・喜入冬子・佛井淑子・
中川敏昭

【剣道六段 (4月29日於京都府)】

【文京】 服部洋明【江戸川】 庄司
めぐみ【中野】 武藤和代・西村厘
【杉並】 梅田尚利【荒川】 神山直
己【西東京】 栗原将人・別所竜太
郎・武長 徹【警視庁】 三谷豪志・
廣川雅之・松本真一【学連剣】 長
谷川卓哉・松本高明・谷健太郎

【剣道七段 (4月30日於京都府)】

【墨田】 山田佳延【葛飾】 眞田直
樹【江戸川】 柳川 剛・川名とし
子【中野】 鈴木敏郎・平澤正嗣・
【大田】 土野順子【西東京】 渋谷
実【警視庁】 田中 浩【学連剣】
山口 昇

【居合道錬士 (5月3日於京都府)】

伊東千秋・松川正博・中川敏昭

【杖道教士 (5月3日於京都府)】

関口正行

杖道鍊士 (5月3日於京都府)
小川真如・太田修司・伊村未散・福見健治・日向 裕

剣道教士 (5月6日於京都府)

【千代田】岡村直樹【台東】金振奎・澤崎直美・高山一三【文京】種田恵子【渋谷】堀池 篤・菊地雅巳・青木淳平【品川】嶋津清貴・渡辺敏弘・大島貴明【目黒】生野勇司【北】駒井幸人【板橋】塚田栄治【練馬】上原伸夫【西東京】小久保重暢・中西一弘・伊藤孝幸【警視庁】水野智規・小林秀俊【法務】池西無我・久松義典【学連剣】大矢芳弘・登坂太樹

剣道錬士 (5月6日於京都府)

【台東】大串真裕美【文京】鈴木翔【新宿】鎌川浩太郎【渋谷】吉岡成子【品川】藤澤 嘉【警視庁】新田秀実【学連剣】川井良介

剣道七段 (5月11日於愛知県)

【千代田】中屋義孝・阿部喜良【中央】飯塚玲加・高野 勉・片野幸司【台東】長濱直弥【墨田】田村亨【江東】西山 亮【江戸川】小田守宏【中野】渡邊知行【杉並】伊吹大吾・秋本龍二・大西 司・川西 玲【渋谷】磯 雄太【品川】竹内 仁【目黒】近藤亮平【大田】関谷寛人【北】黒須伸治【板橋】畠中竜馬【練馬】木村明

子・望月比呂子【西東京】内倉高彦・日高 鉄・塚本実三・南澤誠・長内和久・石田光広・浦井陽子・柄澤 清・飯塚 健・瀧田憲作・和田憲明・石川安彦・安藤敏雄【警視庁】池田武志・泉 貴之・清水敏行・西村謙太郎・吉村光浩【法務】杉本新一郎【学連剣】藤田陽一朗・土屋健介・勝谷浩二

剣道六段 (5月12日於愛知県)

【千代田】渡部純也【墨田】浅野文亮・石川紀行【江東】山崎正道【葛飾】立木 亮【江戸川】吉田慎太郎・小峰正光【足立】上野浩・阿部泰拓【新宿】福地大二郎・田島浩人【中野】竹林幸尋・三宅紀子【渋谷】高瀬竹郎【世田谷】泉 智大・鈴木隆司・日野 昭【港】山本恒夫【品川】志村幸雄・藤木恒治【目黒】高野智司・野口鉄志【大田】伊藤弘子【練馬】小島史章・田中耕一郎・井上達也・中川多都子・岩下憲彦【西東京】小井幹之・小山宗一郎・矢野龍典・木庭雄至・高橋忠志・山田喜之・坂口智一・太田道幸・岡本真弥・黒田浩一郎・西本博繁・曾我宣之・川路篤志【警視庁】高須智之・渡邊雄太・北島元貴・米丸隼仁・川井翔太・安田迪彦・伊藤茂之・宮川博太郎・原田 徹・成田祐介・福田哲也・田村泰士【皇宮】津本義也【自衛隊】真柴智

樹【学連剣】長崎 靖

剣道七段 (5月19日於北海道)

【墨田】工藤佑樹【練馬】矢ヶ崎貴浩

剣道六段 (5月19日於北海道)

【台東】鈴木仁美【警視庁】菊池健太・菊池勇太

剣道四・五段審査会

(2月17日於東京武道館)

五段合格者

【千代田】来海 稜・服部慎吾【中央】上井溪州・丸山哲平・中野尊光・水上善照・依田宇弘・村山広介・松谷珠枝【台東】高畑 実【文京】清水雄太・田中志樹・福田義広【墨田】濱名将大・金居俊男【江東】阿部素之・澤井幸雄・三好崇之・武藤真也・原戸洋太【葛飾】藤田大輔・倉島修一【江戸川】首代光信・武川 功・長沢康司【足立】篠田佳和【新宿】須田慎吾・吉永健太郎・關 玉婷・メスマールフィリップ・尾身 茂【杉並】佐原大樹・清水桂子・泉琢馬・丸尾克行【渋谷】望月康貴・藤田靖人【世田谷】高橋駿介・須賀昭博・藤田弘枝・五味秀策・寺内光宏【港】時田利瑚・藤嶋幸平【品川】荒木 聡【目

黒】刑部好弘・宮下建治【大田】田中 俊・青木 薫・高倉浩史【Stajano-Francesco】豊島】本渡豊【北】清水幸雄【荒川】山脇一将【板橋】郡 大樹・島田 満【練馬】志田龍治・東 慶祐・柴田直樹【西東京】清水飛鳥・吉賀朋子・辻 陽太・桐山美里・松尾慶・齋藤智子・石島 誠・金子雅巳・小泉寿朗・小池美和子・順井守・河野 聡・佐々木修一・今井修【警視庁】笠寺宏志・對馬大輔・水口聡真・森安亮太・伊豆秀則・大山優衣・大鐘彩子【法務】山下大樹・大久保良彦【自衛隊】大垣俊喜・鈴木美幸・織田賢太郎【消防庁】田中にいな【学連剣】越田大樹【高体連】佐藤 藍

四段合格者

【千代田】飯田 匠・山崎大智・長村洋昂【中央】洞谷祐巳【台東】峯岸大空・望月勇司【文京】大矢真衣奈・小長谷聖・鈴木愛枝・大津福雄【墨田】山崎颯大・金谷大地・能城 碧【江東】大形 航【葛飾】新澤諒介・佐藤芽拓・藤岡秀剛【江戸川】大田黒海【足立】笹川優太・長谷川裕・上杉健一【新宿】三輪絢子・小林 亘・小山太一【中野】荒川大晟・重浦太一【杉並】酒井啓輔・飯沼奈緒・吉田倫子【世田谷】佐藤祥子・伊藤 敦【港】黒木良之【品川】中

尾幸太郎・門口雄一・森脇壽緒美・

山下貴義【大田】島村裕治・中野

淳一【豊島】瀧村祐介【北】橋本

聡司【荒川】泉 昌志【板橋】吉

田 雅・後藤颯太【練馬】吉田碧

斗・菊池慎次郎・田中智大・嘉山

央基・宮田邦大・西貝雅人・呉屋

圭一【西東京】藤川竜輔・森田創

太・須藤七菜美・内田望美・山下

宗悦・菅谷沙紀・小泉拓未・池

本 光・吉崎 仁・前原 真・岩

田雅也・増田正人・久保義晴・清

田 仁・井本裕己・北川芽衣子・

東 大介・工藤慎市・長谷川昌志・

来栖 剛・福田宗行【警視庁】山

下夏澄・大門俊介・緒形健人・飯

島和海・中西優太・三浦將之【皇

宮】浦井来未・松浦 匠【学連剣】

HADJISAQUELES・塚本俊治【学

生夕】秋保秀樹・野内幸樹・三宅

悠佑・佐藤 玄・園田しおん・井

厚介・石井麟之介・池田博文・飯

泉匠朗・北井沙樹・大西由将・植

田耕平・茂筑健光・岡 寛悟・橋

本迅生・重松孝明・片瀾歌音・繁

田祐里香・田中太陽・坂本 陸・

納富正道・藤田隼輔・藤田一慧・

近藤克紀・柏 翔真・竹内大景

【高体連】浅野龍二郎・小川昌樹

【もう】息の受審者】
五 段
5 9
20 28
40 48
51 59
60 61
86 98
102 107
128

230 232
236 245
254 279
293 294
299 327
四 段

96 97
100 104
105 111
112 126
138 151
151 204
205 206
208 210
217 218
219 221
225 232
233 234
235 239
241 247
248 252
261 262
282 288
290

剣道四・五段審査会

(4月27日於東京武道館)

五段合格者

【千代田】加藤文典・中川脩平・
西ノ原智紗・小川登志雄・大木千
加子・遠藤 隆【中央】南 純平・
三浦生雅【台東】金本龍輔【葛
飾】五十嵐雅之・松井康次・原口
直・山崎悦子【江戸川】門脇芳也・
野國昌作・赤田将実【足立】秋
葉 瞬・野本修司・巽好一郎【杉
並】PAULMCREEA【渋谷】藤井
実【世田谷】藤原由崇・丸山英一
【港】濱田望夢【品川】網倉彩乃・
八島真彌【目黒】常松佑典・竹内
忠之【荒川】程塚 久・井上秀敏・
新井恵子【板橋】新井秀明【練馬】

砂川亮介【西東京】高橋洸太・田
中伸弥・小倉陸嗣・宇佐美慧・萩
原智代・宮島宏典・鈴木 勉・黒
田武志・津川卓也・小山恵里子・
二宮健一・栗原輝吉・長谷川慎介・
永津博文・古坂郁世【西東京】川
井直輝・西川聖也【皇宮】四柳悠
史【法務】荒川玄暉【交通局】桑
原直哉【高体連】秋山 裕

四段合格者

【中央】五十嵐旬・齋藤嶺治・丑
尾田匠海・井田全信・小峯啓【台
東】江澤大和【文京】児玉 遼・
田淵辰樹・小林美槻・村田基将・
飯田 毅【葛飾】服部竜弥【江戸
川】石井美帆・吉田慎平・伊藤貴
之【足立】村上大智【新宿】ク
リップングデルルス圭【中野】
國安勇妃・岡村浩士郎・関根季
織【世田谷】三好静治・久保 統
【港】櫻井隆登・大崎洋来・坪内
信吾【品川】平子真助・山田千秋
【目黒】尾崎昭則・谷本 信【大
田】中山満里奈・時乘未来【豊島】
関根真澄【北】田内大輝【荒川】
忍足大和【板橋】深水皓斗・山本
浩輔【西東京】吉本菜々子・中村
繕己・上野 傑・立原遥希・小林
奎太・清水 涼・宮崎 海・青木
笙・米田昌泰・内田 駿・飯島志
保子・畔蒜祐一郎・松井秀夫・小
山広高・手山晃一郎・間野田健・
坂本 勉・板橋 忍・藤巻健輔・
桂 良輔・阿部光保【警視庁】尾

崎里緒・新井昌平・大森宥治・松

村翔太・田村徳彦・逢坂 圭【皇

宮】豊田達也【法務】小野正晃

【消防庁】古畑肖佳【学連剣】栗原

宰・藤田 征也・MercadoMarie

Anselm【高体連】竹内 透・尾

岸浩二郎【学生夕】河上璃久・太

田映壮・土井遥登・福西凜花・江

口和希・水野奨梧・志村益仁・小

関俊平・金田大樹・武内慧光・小

磯劍士朗・白井奏大・下村晏加・

山内優奈・松本千尋・中西郁乃・

井上貴之・榎原颯大・高橋創太・
蔵川百花

【もう】息の受審者】
五 段

7 12
21 24
27 32
40 42
45 60
68 69
74 84
96
130 137
142 147
149 151
186 192
231 243
267
四 段

226 236
249 256
264 267

居合道四・五段審査会

(3月16日於東京武道館)

五段合格者

夏目裕幸・高尾幸平・井上貴之・
齊藤恭生・崖 圭子・山田茂樹・
清水好一・若月京子・三輪茂光・
戸田 知

■四段合格者

中原岳瑠・河上祐輝・岩下楓真・
安島大貴・鎗田 直・権代優太・
曾根由圭・郭ビクター・岡安雅代・
戦 琪文・稲田和幸・掛田成徳・
小林明子・杉 英治・大島一志・
森口和晃・館 憲一・田代芳広・
丸山 均・峯 豊・川島衣智子

■「もう」息の受審者

五 段
6 8 10 12 14 17 22 40

四 段

11 12 31 40 49

杖道四・五段審査会

(3月20日於東京武道館)

■五段合格者

吉田大作・羽藤眞弘

■四段合格者

山本 彩・堀口健太郎・三浦俊浩・
築場正明・竹内 洋

■「もう」息の受審者

五 段

1 3

四 段

1 8 17





剣道と第二道場

塚原 清彰

1. はじめに

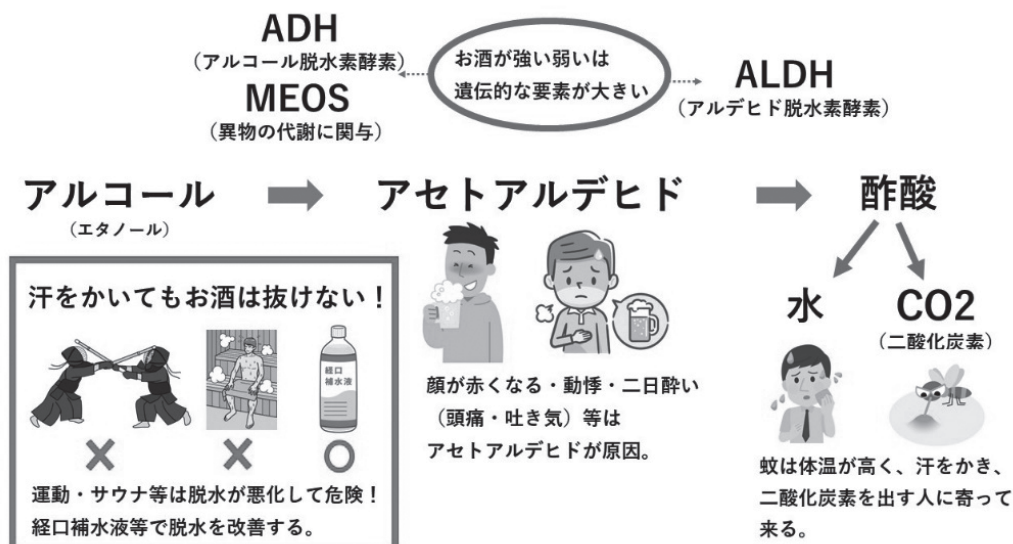
稽古に通う楽しみの一つに杯を交わす第二道場があります。剣道の真髓を第二道場で学ぶことも少なくありません。体質的にお酒に強い弱いがあるのは皆さんご存知だと思います。では、なぜ強い弱いがあるのでしょうか。そして、なぜ顔が赤くなり、二日酔いになるのでしょうか。第2回目のテーマは第二道場と縁が深い「お酒の分解」についてです。

2. お酒が分解されるまで

お酒に強い弱いには遺伝的な要素が大きいのが事実です。これはアルコール分解に関係する酵素の種類が親から遺伝するためです。アルコール（化学的にはエタノール）はザツクリと2段階で分解されます（図）。体内に入ったアルコールはADH（アルコール脱水素酵素）とMEOS（ミクロソームエタノール酸化系）でアセトアルデヒドに分解されます。そして、アセトアルデヒドはALDH（アルデヒド脱水素酵素）により無害な酢酸に分解されます。何だか、難しい化学の内容になってきましたが、ご心配はいりません。図を見ながら、アルコール、アセトアルデヒド、無害な酢酸とADH、MEOS、ALDHの関係だけイメージしてください。

3. 二日酔いの原因はアセトアルデヒド

分解の順番とは逆になりますが、分かりやすくするために、アセト



アルデヒドの分解からお話しします。お酒を飲むと顔が赤くなり動悸がする、頭痛・吐き気などの二日酔い症状になる等はアセトアルデヒドが原因です。つまり、ALDHが少ない(又は全くない)場合、アセトアルデヒドが分解できないため、すぐに顔が赤くなり、気持ち悪くなります。日本人はヨーロッパ系人種等と異なり、ALDH

の欠損率が高いため、世界的にみると「お酒に弱い人種」といえます。また、アルコール依存症の治療として処方される抗酒薬の一部はALDHを阻害します。ALDHが阻害されるとアセトアルデヒドの濃度が上がり、頭痛、吐き気などの辛い症状が出るため、「お酒を飲むと気持ち悪くなるからお酒はやめよう」となるわけです。

4. アルコールからアセトアルデヒドへ

アルコールは前述のADHとMEOSにより、肝臓でアセトアルデヒドに分解されます。代謝が遅いタイプのADHの方は、アルコールがなかなかアセトアルデヒドになりません。従って、時間がたった翌日等もアルコールが体に残り、酒臭くなります。しかも、厄介なことに、前述のアセトアルデヒドになかなか分解されないため、顔が赤くなりやすく、吐き気等も起きにくいため、アルコール依存症になりやすい体質といわれています。

もう一つのMEOSは薬など異物の代謝に関わります。アルコールも異物ですから、アルコール代謝にも関係します。「お酒を飲み続けたら強くなった」という方は、MEOSの酵素が多く誘導されるようになったためです。「お酒も稽古で強くなる」はある意味では事実です。ただし、お酒を飲まない期間が続くと誘導された酵素は元に戻り、お酒に弱くなります。

ここで、雑学をいくつか紹介します。一つ目は「酒が強い人（または酒をよく飲む人）は鎮静剤から覚めやすい傾向になる」です。最近では上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）を鎮静剤併用で行うことも増えました。検査を受ける方が楽だからです。お酒が強い人はMEOSの作用で、鎮静剤が早く分解されるため、覚めやすくなるのです。「麻酔が効かない」と混同される方がいらっしやいます。そうではありませんのでご心配は不要です。

二つ目は「グレープフルーツと一緒に飲んではいけない薬がある」です。高血圧などで使うカルシウム拮抗薬、コレステロールを下げ

る高脂血症不眠症の薬、免疫抑制剤などの一部がこれに該当します。これはグレープフルーツがMEOSの酵素の一部を阻害し、薬の分解を妨げる（薬効が強くなる）ためです。ご心配な方は医師や薬剤師さんに「自分の薬はグレープフルーツジュースで飲んでも平気ですか」と確認してみてくださいはいかがでしょう。なお、MEOSでアルコール分解に使われる酵素と、グレープフルーツが阻害する酵素は別です。

三つ目は「お酒を飲むと汗をかく」です。これまでお話したアセトアルデヒドの影響で、血管が拡張して血流がよくなります。また、アセトアルデヒドは水と二酸化炭素に分解され、尿や汗で排出されるため汗が増えるのです。汗と一緒に、血中に残っているアセトアルデヒドも排出されるため「二日酔いの稽古着は酒臭くて汗びっしょり」という事態が起きます。

四つ目は「お酒を飲んでいると蚊に刺されやすい」です。蚊は体温が高く、汗をかき、二酸化炭素を出す人に寄ってきます。前述のようにアルコールの最後は水と二酸化炭素です。必然的に蚊が寄ってきてやすくなるのです。屋外バーベキューでお酒を飲むときは対策が必須です。

5. 稽古で汗をかくとお酒が抜ける？

これは「運動中に水飲むな」と同じレベルの完全な間違いです。皆さん、お酒を飲んだ翌日に口が乾くのを経験したことがあると思います。これは脱水のサインです。これまでお話したアルコールの分解には水分が使われます。また、尿を出しにくくするホルモン（抗利尿ホルモン）はアルコールをある程度飲むと、分泌が抑制されます。「尿を出しにくくするホルモンが抑制される」ので、トイレが近くなるというわけです。分解に水分が使われ、尿が強制的にどんどん排出されるため、脱水になります。脱水の状態では、汗をか

けば、脱水症状が更に悪化します。「入浴・サウナで汗をかいて酒を抜く」も同様に間違いです。脱水は脳梗塞、心筋梗塞などの原因にもなりますので、やめましょう。お酒を抜く一番の方法は「水分補給」です。飲み過ぎたな、口が乾くな、と思った時は市販の経口補水液などを飲むことをお勧めします。

6. おわりに

お酒は第二道場の潤滑油ですが、頭頸部癌（舌癌、咽頭癌、喉頭癌など）の代表的な危険因子でもあります。適量のお酒で楽しい剣道生活を送ってください。

プロフィール

氏名 つかはら きよあき

年齢 50歳

出身地 埼玉県

出身学校 東京医科大学

経歴 平成10年 東京医科大学卒業

平成14年 東京医科大学大学院入学

平成14年 医学博士

平成16年 癌研附属病院 頭頸科

平成17年 がん研有明病院 頭頸科（名称変更）

平成20年 東京医科大学八王子医療センター

耳鼻咽喉科頭頸部外科

平成27年8月 東京医科大学耳鼻咽喉科学分野

主任教授

平成28年7月 東京医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外

科学分野（組織変更）主任教授

現在に至る

剣道

錬士六段

座右の銘

恩を売らず報いを求めず

下半期の活動と令和6年度の展望

居合道部会

会長 伊藤 繁男

昨年10月に東京武道館で開催された『全日本居合道大会』後の最大の行事は、新年早々に開催された『関東甲信越居合道大会』（主催・東京都剣道連盟、主管・居合道部会）でした。27回目となるこの大会は参加者も1033名を数える日本でも有数の大会、そして地区限定の大会としては全国最大規模となりました。このような多人数の大会を大過なく実施できたのは、これまでの26回にわたる経験、三年連続して全日本居合道大会に携わった事による運営実績の蓄積も相まって、会員一同の協力と研鑽があつてこそであると痛感するとともに、本大会がこれからの大会運営の一つの基準となる大会になったと実感しました。



関東甲信越居合道大会

いるのかを考えた時、部会活動の中心にいる支部・地区指導者の指導力を含む実技力の更なる向上と意識改革の必要性に至り、『指導者講習会』を昨年度と同様に重点の講習にしました。今回の『古流研修会』は従来とは異なり、流派の解説にとどまらず、自流派の演武水準を判断する基準を他流派に示し理解を求めめることを主眼とし、『夢想神伝流・無双直伝英信流・無外流・伯耆流・田宮流』の講習としました。

令和6年度は令和4・5年度の実績を踏まえ、従来の仕様にとられずにより良いあり方を取り入れて、会員の「居合道人」として部会会員としての「自覚」を生みやすい環境づくりを目指します。

杖道へのいざない

—— 剣道人の皆様へ

東京都剣道連盟杖道部会

桃林杖道会代表 高山 一三

夫婦で剣道を始めたのは約30年前、子供たちの先生から「両親も一緒に」と勧められてのことでした。10年後、ある剣道大会で杖道演武を観て感動し、杖道も始めました。当時は二人とも剣道四段。さらに剣道で上を目指すために片手間で杖道を稽古し始めた感じですが、東京都大会の二段の部で優勝した頃から、徐々に杖道そのものに魅せられるようになりました。

2007年以降は全日本大会や夏の全剣道講習会にも欠かさず参加するようになり、全国に多くの杖友の輪が広がりました。また一昨年より京都演武大会に杖道や各種形の部でも参加。武徳殿の厳かな雰囲気の中で素晴らしい経験をさせていただいています。2年前からは桃林杖道会というところで後進指導にも携わることになりました。責任は重大ですが、熱心に付いて来て下さる仲間が徐々に増え、二人にとつてとても大切な場となりつつあります。

杖道の流祖は400年前の剣の達人、夢想権之助。宮本武蔵

に剣の立ち合いで敗れた後、山に籠って杖術を編み出し、再戦時には勝利したと伝えられています。杖道は打太刀（剣）と杖で行い、剣に対して杖が勝つ稽古になっていきます。そのため、杖が重視され、杖の稽古に力が入ってしまう傾向があります。従って、桃林では打太刀を重視し、木刀での五行の構え、足捌き、素振りを必ず稽古に取り入れています。

妻は諸事情により剣道を卒業しましたが、私の方は先日剣道教士号を拝命、杖道を並行して修行してきたおかげです。ということで剣道人の皆様、是非杖道を始めてみませんか。中山博道先生のように、「剣道の裏が判る」ようになるかも知れませんよ。同じ形武道ですから剣道形も上手くなるかと請け合いです。桃林の会員は剣道経験者が約半数を占めています。ご連絡お待ちします！



桃林杖道会のメンバー

支部活動報告

70周年記念行事と現在の取組み

文京区剣道連盟

会長 吉野 明男

平素より、文京区剣道連盟発展のため、東京都剣道連盟をはじめ、中央四区の剣道連盟の先生方には、大変お世話になっております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

1952年に発足した文京区剣道連盟は、2022年に70周年を迎えることができました。また、同年10月には、第69回



文京区民剣道大会開会式

文京区民剣道大会を、70周年記念行事として、開催いたしました。



文京区民剣道大会団体戦決勝戦

た。

普段は、小学生および中学生の団体戦、高校生および一般の男女の個人戦ですが、70周年記念行事では、各会のベストメンパーを選出した、3人制の団体戦も行い、大変盛り上がりしました。

定例行事としては、従来から、主に大人会員を対象とした月例稽古会を開催しており、元立ちの先生方に集まっていただき、剣友会の枠を超えて汗を流し、ご指導いただいております。

前回ご紹介した、女子稽古会に関しては、年齢を問わず女性会員を対象としており、剣道形や基礎稽古を中心に指導していただいております。

どちらもご指導してください。先生方のご尽力により、高段者の数も増えてきている状況です。

そして70周年を機に、若手選手の定期的な稽古も開催しました。文京区を代表して各種大会に出場する選手やチームに対するサポート体制を作り、次世代

を担う若手選手の稽古を図っています。

また、定期的な小中学生の稽古会も設け、級審査や段審査のポイントを伝えたり、自分たちの所属メンバー以外と稽古をできるような機会を作り、文京区全体で子供達が仲良くできるような環境を作っています。

前述した通り、「先生から生徒へ」の「縦の技術の継承」と、「仲間同士」での、「横の技術の共有および成長」ができるように、会員全員で切磋琢磨（せつさくま）していきたい所存です。

コロナ禍を経ての活動

新宿区剣道連盟

理事長 清水 宣治

新宿区剣道連盟は、昭和27年に東京都剣道連盟や全日本剣道連盟設立とほぼ時を同じく、新宿区内剣道愛好家が集まり設立されました。昭和35年からは定例の稽古場所を確保し、現在は新宿スポーツセンター武道場で稽古会を開催しております。火・木・土曜日の夕刻から夜間、水・



新年稽古会

金曜日の午前と、稽古時間を確保できており、会員の充実した稽古環境を確保しております。

当連盟の会長に昨年就任した栗原正和教士八段の下、基本方針である「交剣知愛」、「生涯剣道」、「青少年育成」、「国際交流」の実践に向け活動しております。

コロナ禍においては、公共の体育館等が使用できない時期を除き、コロナ対策を実施しての稽古会を開催し、昨年度からはほぼ平常時に近い状態で活動を継続出来ております。昨年度では、少年部が日帰りで秩父市へ、一般会員は貸し切りバスで一泊の静岡市への訪問稽古を実施することもできました。

会員は、東京都剣道連盟登録会員のほか、準会員・少年会員・団体会員合わせて370名（令和5年度）が所属しております。団体会員には早稲田大学剣道同好会が参加しており、稽古会や試合参加のほか、大会運営や少年部指導の協力もいただいております。

剣道大会は、5月の「新宿区

剣道大会」、6月にライオンズクラブと共催の「ライオンズ旗争奪新宿区少年剣道大会」、9月には「新宿区民総合体育大会剣道大会」の三大会を運営しております。また、10月には三段以下昇段審査会、6月と11月には昇級審査会を実施しております。コロナ前と昨年度の参加者数を比較してみますと、剣道大会ではコロナ前の約80%程度に、審査会ではほぼコロナ前水準に戻っております。

火・木・土曜日の夕方からは少年部稽古会と併せて一般初心者稽古会を開催しており、その参加者の多くが外国籍の方となっており、当連盟の特色かとも思っております。また、水・金曜日午前の一般稽古会では女性や高齢者の参加が多く、女性参加や生涯剣道に寄与しているものと考えております。

明日に向けて

一般財団法人目黒区剣道連盟

理事長 長澤 良治

当連盟は、剣道、居合道および杖道の普及伝承を図るため、

区立体育館5館に指導員を派遣して目黒区の一般公開事業活動に協力しているほか、剣道大会の主管、ジュニア・シニア講習会、指導者研修会、剣道段・級位審査会の開催などの各種事業を展開しております。

特に、区立中央体育館では年末・年始及び年2回行われる剣道大会の日を除き、毎日、剣道の稽古ができるようになっており、さらに日曜日と祝・祭日には、居合道および杖道の稽古も行っております。

令和元年12月初旬に中国の武



目黒区体育祭剣道大会試合



目黒区体育祭剣道大会選手宣誓

漢市で新型コロナウイルス感染者が報告されてから、わずか数か月の期間に世界的な流行となったコロナ禍は、我が国においても、国内初の感染者が確認された令和2年1月中旬以降、令和5年5月初旬に新型コロナウイルス感染症が「第5類感染症」に変更されるまでの期間、緊急事態宣言の発令や自主規制等により、各種の社会的制限が加えられてきました。

その中であって、当連盟でも各種事業の縮小、延期、中止などの措置を講じて活動を続けざ

るを得ませんでした。これにより、小・中学生の剣道人口の減少など大きな影響を受けました。令和5年5月以降、徐々に緩和されてきたコロナ対策に併せて当連盟の事業も平常に戻りつつありますが、更に今後の事業拡大に資するため、各体育館の協力を得ながら「こども剣道」、「居合道・杖道」の体験教室の開催や地域の小学校に「こども剣道」参加者募集パンフレットを配布するなどの活動を行っております。また今年度から女性の剣道人口を増やすことを目的として、毎週水曜日の午後1時から3時まで、中学生以上の女性を対象とした「女性剣道」の稽古を中央体育館で開始いたしました。このように、当連盟では明日に向けた地道な努力を積み重ね剣道・居合道および杖道の普及発展に努めてまいります。

高齢者のための剣道

東京都交通局剣道連盟

理事長 徳竹 良男

合宿・祝賀会について

令和5年度の合宿は新潟県湯沢町にて9月28～29日の一泊二日で開催しました。

参加するOBも高齢となり長距離や高速道路の運転は大変であるとの声を聴き、移動手段が気楽な電車を利用しても行ける会場としました。参加人数20名を予定していましたが、会長の体調不良、理事長が腰椎手術後の体力回復が遅れ共に参加でき



合宿にて山中講師による指導

ずOB8名、現役乗務員5名、計13名と予想外の少ない人数となりました。尚94歳となる副会長の滝澤義信先生が元気で参加され「高齢になっても老いることを忘れ元気が湧き出る剣道を」とその良きお手本を示されました。我々も手本とし、また目標としたものです。合宿の内容は①昇段審査に向けて②試合審判法③日本剣道形としました。講師には長年警視庁範士八段の先生に指導をお願いしていましたが今回は当連盟次世代の指導者として活躍していただきたく、若手筆頭者である山中皇幸氏きみゆきに講師をお願いし、快く引き受けていただきました。山中氏はそれぞれ自分が体験し、また勉強された資料にもとづき分かり易く丁寧の説明、参加者から自分の日頃の稽古に取り組む姿勢、捉え方の反省等々の声があちこちで聞かれ、参加人数は少なかつたものの、明るく楽しい実りの多い合宿でした。コロナウイルス感染で消えていた合宿の明かりを点す事ことができ大変嬉しく思うと同時に、山中氏



昇段祝賀会

にはこの合宿を機に自信をもって当連盟の指導者としてまた、各地域社会において正しい剣道の振興、普及発展に努めると強く願っています。

昇段祝賀会の開催

当連盟正会員対象で七段2名以上の合格者が誕生したら昇段

祝賀会を連盟主催で開催しています。今回は令和5年11月、厳しい審査会の中、3名の方が見事七段に合格されました。この難関突破は日頃よりの研究・工夫努力されたものが身に付き自分自身の剣道が審査員のところを捉えた結果だと思えます。合格者の中に89歳と高齢の塚原忠明先生がおります。高齢になっても活躍でき、人生を日々愉しめる剣道を実践されています。剣道は素晴らしい!! この3名の方の昇段祝賀会を6月1日銀座キャピタルホテルにて賑やかに盛大に開催いたしました。

大会案内

寛仁親王杯 第24回剣道八段選抜大会

日時：令和6年9月7日(土) 午後2時30分開会

場所：東京武道館 主催：一般財団法人東京都剣道連盟

第63回東京都剣道選手権大会

日時：令和6年9月7日(土) 午前9時開会

場所：東京武道館 主催：一般財団法人東京都剣道連盟



連盟案内

東京都剣道連盟の
ホームページ(HP)を
ぜひ、ご覧下さい

フレッシュな情報を提供しております

URL <http://www.tokyo-kendo.or.jp>
東京剣連・東剣連でも見ることができます



東京剣連だより

第96号(令和六年七月十六日発行)

発行人 千葉 胤道

発行所 一般財団法人東京都剣道連盟

T105-0004

東京都港区新橋四ノ二十四ノ二

TEL 〇三五四〇五二一六六

FAX 〇三五四〇五二三八〇

URL <http://www.tokyo-kendo.or.jp>

編集長 西山 貢

編集委員 松本高明・小沢 清・柳 徹

目黒秀治

印刷 株式会社マルチプレス

本誌の掲載記事の無断掲載および複写を禁ずる